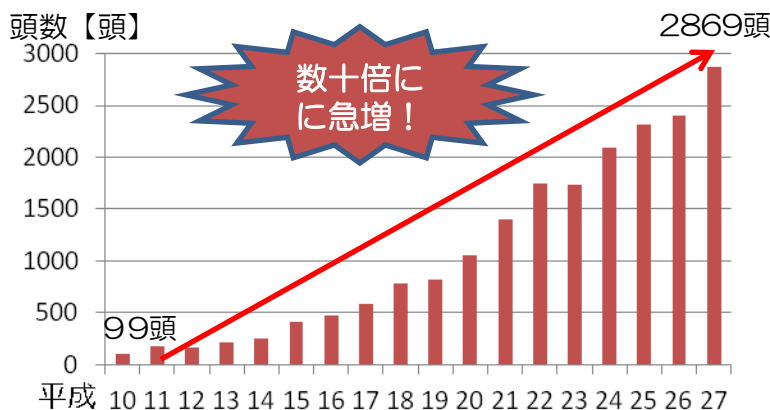


牛白血病対策をはじめましょう！

栃木県県央家畜保健衛生所

- 牛白血病はウイルスによる病気です。感染しても、実際に発症するのは一部(5%)ですが、一旦発症すると回復することなく、100%死亡してしまうため、農場に大きな損失をもたらします。
- 平成21-22年に行われた全国調査では、**乳用牛の約40%、肉用牛の約30%が感染(抗体陽性)している**との報告があり、牛白血病の広がりには深刻な状況です。



発症牛は痩せてリンパ節の腫れが目立つことも(矢印)

全国での発生頭数の推移

次のクイズで、牛白血病対策のきほんをおさらいしましょう！

Q 1
感染牛の何からうつるのでしょうか？

答えを次から選んでください
①血液 ②乳汁 ③鼻水などの体液

Q 2
感染すると、どんな症状を示すのでしょうか？

答えを次から選んでください
①下痢 ②肺炎 ③特に症状はない

Q 3
対策は何から始めたら良いのでしょうか？

答えを次から選んでください
①感染牛の分離飼育
②初乳の処理(56℃30分加温、凍結処理)
③吸血昆虫(アブ、サシバエ)対策

※答えは1つとは限りません。

答えは裏面

Q1

感染牛の何からうつるのでしょうか？

一体、何に気をつければいいまる？



A1 正解は①②③すべて(主として血液)

- とても少量の血液で感染するため、耳標装着、除角、去勢、削蹄などでは一頭ごとの器具の水洗・消毒が必要です。(一般的な消毒薬でも可)
- また、注射針や直検手袋の使いまわしでも感染するので気をつけましょう。

Q2

感染すると、どんな症状を示すのでしょうか？

A2 正解は③ 特に症状はない

- 感染しただけでは、健康な牛とほとんど見分けが付きません。
- ただし、一部で発症するとリンパ節等に悪性腫瘍ができて死亡します。
- 感染牛は非感染牛と比較して生産性が低下(泌乳量低下、分娩間隔延長、再診率上昇)するとの報告もあります。

Q3

対策は何から始めたら良いのでしょうか？

A3 正解は①②③どの対策も重要ですが、農場により優先順位が変わってきます。

- 農場の感染率や飼養状況等により、様々な対策を選択・組み合わせることが有効です。
- しかし、どの牛が感染牛か分かっていないと効果的な対策は困難です。



感染牛と非感染牛の接触を断つのが重要まるね

牛白血病対策の第一歩

農場内の感染牛を正確に把握することが対策の第一歩です！
効果的な対策を行うため、家畜保健衛生所に御相談ください！

牛白血病対策についてのお問い合わせは
栃木県県央家畜保健衛生所 TEL：028-689-1200

